

野茂とイチローは「科学的」にどちらが偉いと思いますか？

(東北大学大学院理学研究科)

山下正廣

私は講義や講演などでいつも「野茂とイチローは科学的にどちらが偉いと思いますか？」と尋ねます。どちらが偉いか手を上げさせるとほぼ半数ずつに別れます。野球と科学がどんな関係があろうと思う人は手を挙げずに首をかしげています。さあ、皆さんはどちらが偉いと思われますか？

まず、「科学」について述べてみたいと思います。「科学とは何ぞや？学問とは何ぞや？」という問いをすると、あまり分かっていない研究者が多いのに驚かされます。「科学」とは「新しい普遍的な真理の探究である」ことには違いないわけです。例えば、新しい化合物の合成、新しい反応の発見、新しい物性の発見、新しい理論の確立、新しい測定法の確立、などであります。しかし、これでは不十分で、一番大切なことは「全く新しい分野の創造」であります。だから、今盛んに研究されている分野（例えばカーボンナノチューブや酸化物高温超伝導など）を研究しても後追いになり「科学」をやったことにはならないわけであります。「科学」とは最低、今後20～30年後に「学問分野」として確立できるであろうと言うような、今は誰もやっていないテーマを世界で初めてやるべきであります。20年から30年以上先のことを見据えながら「科学」をやるわけですから、未知の世界であり、そのために「科学」をやるには「夢」と完全な独創性とセンスと忍耐（努力）が要求されます。

次にメジャーリーグで活躍している日本人プレーヤーを見てみましょう。今、10数名の日本人プレーヤーが活躍しています。その中でも、野茂は初めてメジャーリーグで活躍した日本人プレーヤーです。日米で合わせて200勝以上の成績を上げています。野茂の活躍を見て、イチローや松井など多くの日本人選手がメジャーリーグに移り活躍するようになったわけです。野茂は未知の世界であるメジャーリーグに単独で初めて乗り込んで、素晴らしい成績を上げたわけで、その意味で野茂は分野を作ったわけです。歴史を作ったわけです。一方、イチローを見てみましょう。彼は野茂の活躍を見て渡米したわけです。彼は次々とメジャーリーグの記録を塗り替えています。大変な活躍です。5年間連続で200本以上のヒットを打ったり、1年間のヒット数が262本の記録を作ったりと、アメリカ人も含めてだれしもがイチローの活躍を認めています。しかし、もし10年間以上連続200本以上ヒットを打ったり、1年間で300本以上打つ日本人プレーヤーが出てくればイチローの記録はほとんど忘れ去られ、歴史に残りません。その意味で既に野茂は新しい歴史（分野）を作り、永遠に残りますが、イチローは記録を誰かに破られればいずれ忘れ去られるであろうと思われます。

その意味で「科学的」に野茂が偉いわけであります。これが正解です。我々「科学者」は野茂を目指すべきです（ちょっと主観的すぎますかね？）。

科学はなぜ面白いのか？

東北大学大学院理学研究科

山下正廣

私は研究会や学会や講義の際に、研究者や院生に「科学はなぜ面白いですか？」と聞きます。いろいろな答えが返ってきます。「新しい物性を示す化合物を合成できるから」、「常識を覆すことが出来るから」、「新しい反応を見いだせるから」、「新しい現象を発見できるから」、「新しい理論を打ち立てることが出来るから」「新しい測定法を確立出来るから」などなど多彩です。いずれも正解です。

しかし、私は人生が 1 回しかない中で「科学」という職業を選び、それで飯を食っている以上、もう少し自分も他の研究者も含めて普遍的な答えが必要ではないか考えてきました。その結果、結論を得ることが出来ました。すなわち、「科学」は真理（真実）の前に「階級制がない」から面白い、という結論です。例えば、ノーベル賞学者が言ったことが間違いで、我々凡人が言ったことが正しいことが山ほどあります。また、大学院生が言ったことが正しくて、教授が言ったことが間違いであったことなどいくらかも有ります。このように「科学」は真理の前では「階級制」は有りません。

しかし、世の中（社会）は違います。100%階級制社会です。例えば、世界で 1 番の金持ちで、株取引の違法で逮捕されたコクド（西武鉄道）の堤元会長は、もしヒラ社員が堤会長に向かって「堤会長、それは間違っていますよ！！」と正しく指摘したとしても、その社員は次の日にクビになると思います。社会（会社）は階級制だからです。会長（社長）は絶対的な権力をもっているわけです。権力の前では真理（真実）は無効です。その意味でこの世で唯一、「階級制」のないのが「科学」です。だから我々は「科学」に打ち込むことが出来るのです。人生を賭けることが出来るのです。

もう一つ「科学」が面白い理由は、「科学」は「歴史」を作ることが出来ることです。当然、政治も「歴史」を作ります。しかしその評価は時代によって、また評論家によっても変わります。しかし、例えば科学の中で「地動説」を考えてみると、これは時代が変わってもその評価（真実）は変わりません。まさに、「科学」は歴史を作るわけです。歴史上、評価は変わらないわけです。

以上の 2 点が「科学」が面白い理由であると言う結論に達しました。主観的すぎますかね？